

屋外型LEDビジョン

屋外LEDビジョンは雨や風に強い防水・防塵機能が備わっているため、屋外でも安心してご利用いただけます。

直射日光に負けない明るさで、昼夜問わず高い視認性を誇ります。

LEDビジョンは、従来の紙媒体の看板とは違い、映像や音での訴求活動が可能なので訴求効果も抜群です。

建物屋上・壁面の看板、野立て看板や屋外のイベントなどにご利用いただいております。

 LEDUS Vision



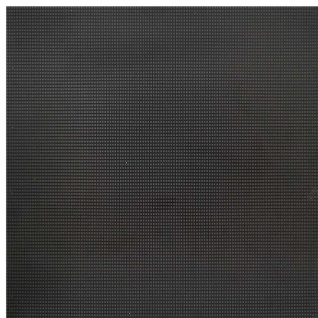


屋外型LEDディスプレイ

「屋外型LEDサイネージ」とは
高輝度で鮮やかな演出をが可能になるため海外ではアパレルブランド店舗や
駅前ビル、商業施設で使われています。

近年、国内での主要都市駅前などの再開発が進み新築ビル建設の際にLEDを組
み込む工事が進んでおります。

屋外用アルミ素材キャ ビネット



P1.95・P2.604・P2.97・P3.91

LEDUSVision FC 超薄型低消費電力防水屋 外固定マウント HD LED ディスプレイ

- ①軽量キャビネット 8KG(500×500)
- ②特殊防水設計:IP65
- ③フロントメンテナンスとバックメンテナンス可
- ④低消費電力



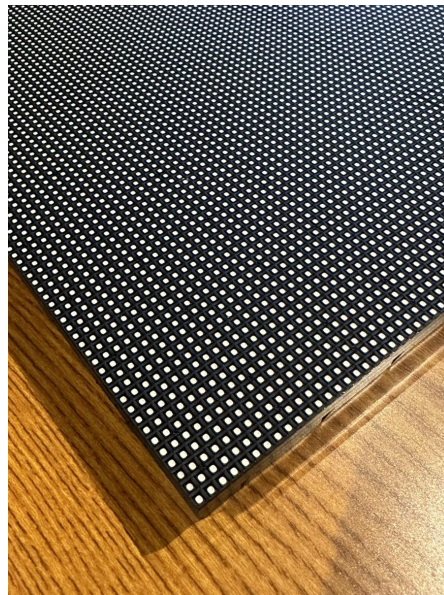
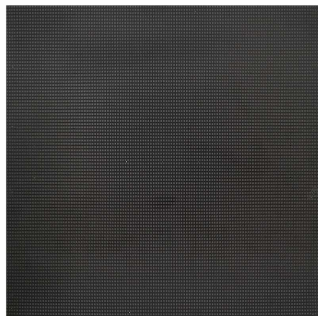
屋外用LEDディスプレイ モジュール (スタンダードモデル用)

LEDUSVision LED ディスプレイ

①②特殊防水設計:IP65

②フロントメンテナンス(バックメンテナンス可)

③低消費電力



屋外LED スタンダードモデルBOX



バックメンテナンス用BOX

- メリット: 屋外空中での取付タイプですと足場や高所作業車を必要とせず内部からメンテが可能。
- デメリット: 既存の建物に取付には不向きとなります。



フロントメンテナンス用BOX

- メリット: 一般的に多いタイプで既存の下地があれば何処にでも取付が可能。
- デメリット: 地上から高さがある場合、足場・高所作業車等が必要になり都度、別なコストがかかる。

①コンテンツ制作・管理

ノートパソコン、スマホに専用アプリをインストールすれば簡単にコンテンツをサイネージに反映できます。



アップロード



②制御システム

デジタルサイネージ専用の制御システムはWi-Fi接続してスケジュール管理ができます。



③デジタルサイネージ

アップロードするだけで簡単に映像が流れます。



配信



LANケーブル

 LEDUS Vision



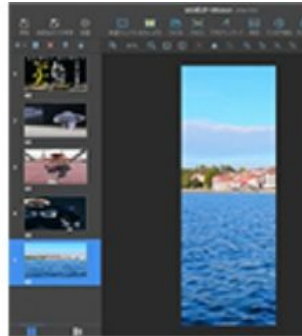
スマホで簡単管理出来る手軽さ



Android/iOS版

Windows版だけでなく、スマホ・タブレット等のAndroid/iOS版があるので手軽にコンテンツの更新が可能です。※一部機能は制限されます。

モバイルでの管理イメージ



ディスプレイ管理

ネットワークに接続されているディスプレイや、ディスプレイの輝度、電源などを操作できます。

コンテンツ制作

動画、静止画を取り込み、テキストの打ち込みや放映順を並べ替えて様々な番組が作れます。

スケジュール配信

無線LAN、有線LAN、USBを使いディスプレイに配信できます。Android/iOS版は無線LANのみ。

PRODUCT LIST



安心の優良メーカー

弊社が業務提携しているパートナー工場（中国メーカー）は優良メーカー4社とタッグを組んでおり都内で日本法人もあり日々、日本国内でのクライアント様からの声を拾い商品改良を重ねより満足のいく商品を提供してまいります。

※弊社設置映像です。

屋外型LEDビジョン 導入事例

事例①

商品名:屋外用 LEDビジョン

ピッチ:P6.67mm

サイズ:W5120×H2880mm:W1600×H2880

設置場所:北海道旭川市 某自動車学校様

工事一式金額:13,200,000円(税込)



事例②

商品名:屋外用 LEDビジョン

ピッチ:P3.91mm

サイズ:W1500×H1750mm

設置場所:北海道札幌市 某整骨院様

工事一式金額:1,260,000円(税込)



事例①



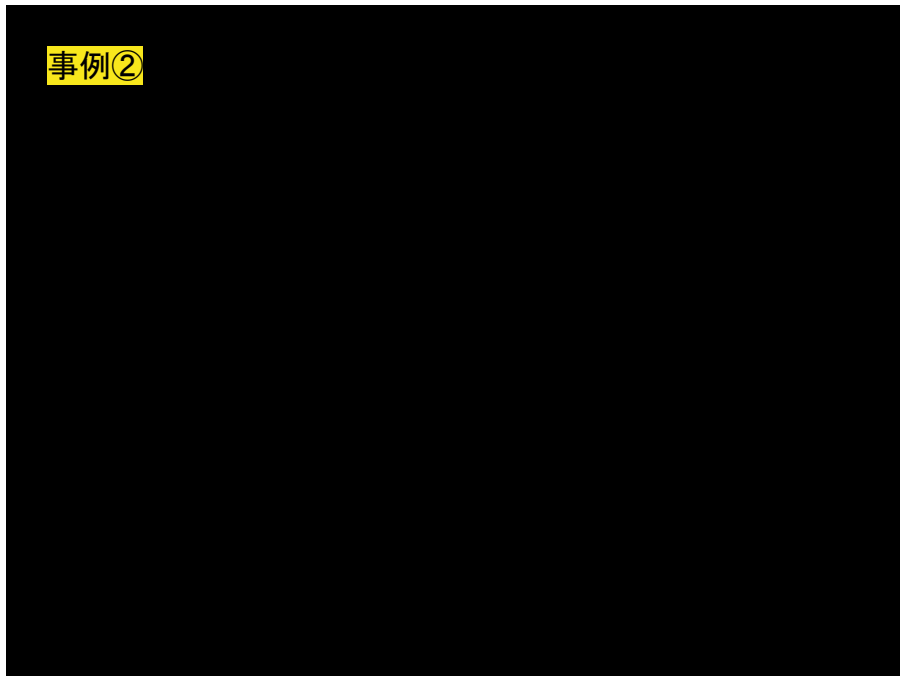
事例①

屋外型LEDビジョP3.91W1500×H1750

事例②

屋外型LEDビジョンP5W3,200×H1600

事例②





ご準備いただく費用

本体費用

+

共通費用

機材費用

配線・映像機器の費用
(20～70万程度)

+

取付施工費

下地金物・高所作業車等
含む

+

運送料

空輸(割高だが早い)
船便(割安だが遅い)

※これらの共通費用はどの販売業者様も同じような費用感になる場合がほとんどです。「どの販売業者が安いのか」ということを考える場合には、気にするポイントではありません。

気にすべきポイントは、「LEDビジョン本体費用が販売業者によって大きく違う」というところです。LEDビジョン本体の費用は、1平方メートルあたりの単価が設定されていて、平方メートル数をかけることで計算します。